

環境経営レポート

(対象期間 2023年4月～2024年3月)



目 次

1. 組織の概要及び対象範囲	1 頁
2. 実施体制図	2 頁
3. 環境経営方針	3 頁
4. 環境経営目標	4 – 6 頁
5. 環境経営計画	7 頁
6. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	8 – 10 頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟有無	11 頁
8. その他の様々な活動	12 – 15 頁
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	16 頁


安房運輸株式会社

2024年5月31日発行

取組の対象組織・活動の明確化

1. 組織の概要及び対象組織・活動

1) 名称及び代表者名

安房運輸株式会社

代表取締役会長兼社長 石川 夕伎夫

2) 所在地(対象範囲)

本社	千葉県君津市中島410	(2022年度より取組中)
本社営業所	千葉県君津市中島410	(2022年度より取組中)
木更津営業所	千葉県木更津市中尾1173-1	(2024年度取組開始予定)
千葉営業所	千葉県千葉市緑区高田町1643-9	(2023年度取組開始)
葛西営業所	東京都江戸川区臨海町6-1	(2024年度取組開始予定)
東京営業所	東京都江東区東砂8-25-6	(2024年度取組開始予定)
埼玉営業所	埼玉県朝霞市田島2-14-1-401	(2024年度取組開始予定)
土浦営業所	茨城県かすみがうら市上稲吉東清水2044-7	(2023年度取組開始)
金沢営業所	石川県金沢市千木町ル218	(2023年度取組開始)
東海営業所	岐阜県羽島郡岐南町伏屋6-195	(2023年度取組開始)

3) 設立、事業規模

設立年月日	1943年11月
資本金	18百万円
売上高	8,337百万円 2022年度(2021年4月～2022年3月)
従業員	400名
車両台数	397台

4) 事業活動内容

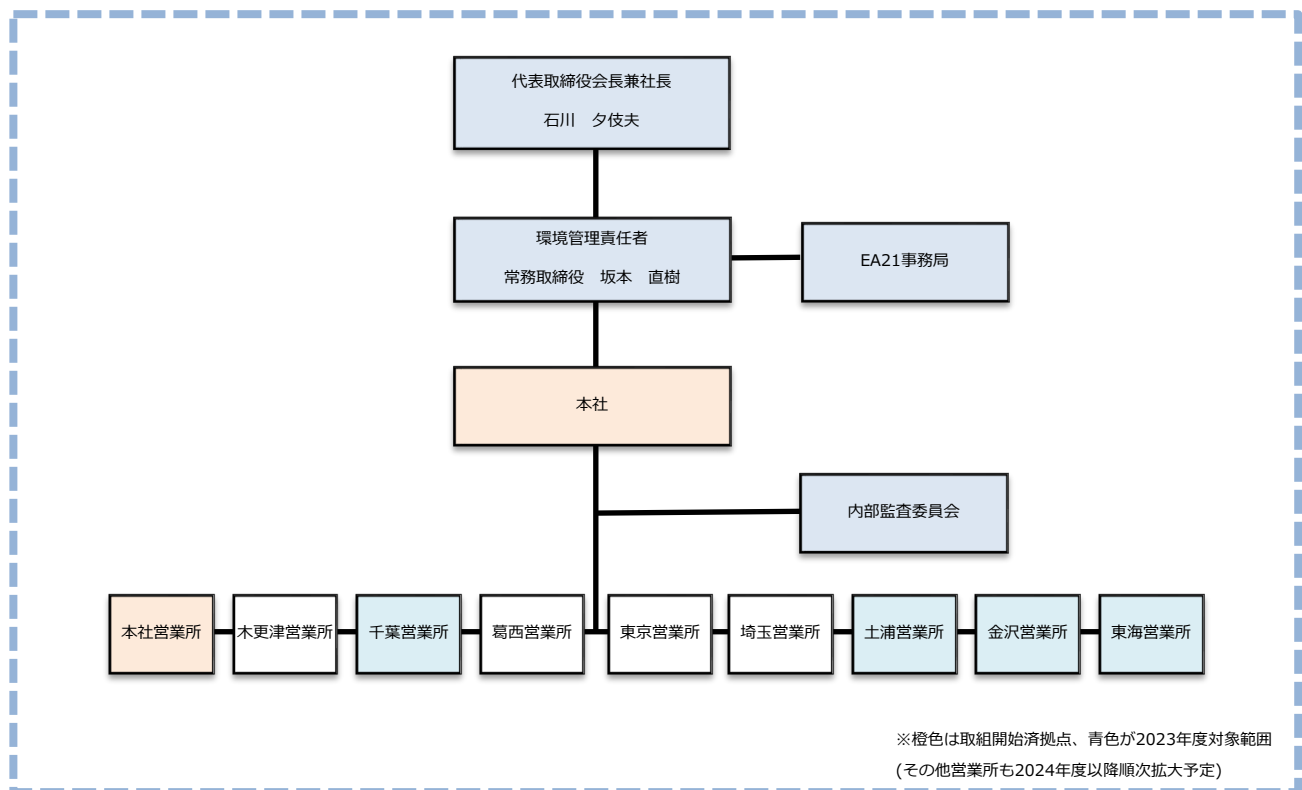
一般貨物自動車運送業

5) 環境管理の責任者及び事務局連絡先

環境管理責任者	専務取締役	坂本 直樹	TEL : 0439-70-1771
EA21事務局	総務部部長	坂本 麻子	TEL : 0439-70-1771
	管理部部長	鳴海 明	TEL : 0439-70-1771

6) レポートの対象期間及び発行日 表紙に記載

安房運輸株式会社 エコアクション21体制図(2023年度)



役割・責任・権限表

代表者	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 ・環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する。 ・効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定める。 ・環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）の用意する。 ・環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者	・環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 ・全社組織へのEA21活動実施の統括 ・EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 ・内外環境コミュニケーションへの対応 ・問題点の是正処置の統括
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21活動に関する事務・数字集計 ・EA21活動に関する協議、意見交換
本社	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・環境経営方針等決定事項の営業所伝達 ・EA21活動に関する所属長への教育・訓練
内部監査委員会	・EA21活動に関する内部監査の計画 ・EA21活動に関する内部監査の実施 ・EA21活動に関する内部監査結果の環境管理責任者への報告
各所属長	・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知・教育・訓練 ・部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ ・問題点の是正処置、予防処置の実施
従業員	・環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 ・EA21活動に関する提案

安房運輸株式会社 環境経営方針

[基 本 理 念]

安房運輸株式会社は、事業に関わるすべての方々への「感謝の心」を何よりも大切にしております。その感謝の気持ちに加え、誠実であることが、皆様からのさらなる信頼獲得と会社の確かな未来につながるものと考えております。

当社の行う貨物自動車運送事業活動では、公道の利用とそこに暮らす地域の方のご協力が不可欠であり、その生活環境を守ることは当然の責務であります。

上記理念を踏まえ、地球環境保全のため「安心・安全・確実」はもちろんのこと、環境に配慮した輸送サービスの提供に全従業員一丸となって積極的に取り組みます。

[環 境 経 営 の 基 本 方 針]

1. 環境経営にあたって環境に関わる法令・条例等の関係法規を遵守します。
2. 効率的なPDCAサイクルの運用により、環境経営システムの継続的な改善を行います。
3. 以下を重点項目とした上で、環境目標及び行動計画に沿って実行します。

①二酸化炭素排出量の削減

- ・エコドライブの推進により車輛等の燃料使用量削減に努めます。
- ・事務所における電力使用量の削減に努めます。

②廃棄物排出量の削減

- ・事務所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ・資源の有効利用とリサイクルを推進します。

③水使用量の削減

- ・事務所内の水使用量の削減に努めます。

④その他

- ・アイドリングや空ぶかしの抑制による騒音の低減に努めます。
- ・交通事故防止による環境負荷の低減に努めます。
- ・グリーン購入、紙資料の電子化等による環境配慮に努めます。
- ・地域活動を通じて、地域環境の向上へ貢献します。

4. 全従業員に対する周知とともに、必要知識の教育および意識向上を図ります。
5. 環境レポートの作成・公表により、環境コミュニケーションに取り組みます。
6. 環境経営を通じて、SDGsの関連目標達成を目指します。

令和5年3月31日

安房運輸株式会社
代表取締役会長兼社長 石川 夕伎夫

4.環境経営目標



(1)本社

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	67,701	1 %削減 67,024	2 %削減 66,347	3 %削減 65,670
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		LPG使用量	kg	52	51	51	50
		ガソリン使用量	L	15,759	15,602	15,444	15,287
		上記に対するCO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	67,656	66,980	66,303	65,627
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力
3	水使用量の削減		m ³	209	1 %削減 207	2 %削減 205	3 %削減 203
4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	205,771	2 %削減 201,655	4 %削減 197,540	6 %削減 193,424

(2)本社営業所

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		ガソリン使用量	L	2,621	2,594	2,568	2,542
		軽油使用量	L	1,457,517	1,442,941	1,428,366	1,413,791
		上記に対するCO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	3,766,473	3,728,808	3,691,143	3,653,478
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力
3	水使用量の削減		m ³	共用の為、節水努力	共用の為 節水努力	共用の為 節水努力	共用の為 節水努力
4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	183,218	2 %削減 179,553	4 %削減 175,889	6 %削減 172,224

※二酸化炭素排出係数は令和5年7月18日公表の東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.457kg-CO₂/kWhを適用した。

4.環境経営目標



(3)千葉営業所

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	26,688	1 %削減 26,421	2 %削減 26,154	3 %削減 25,887
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		LPG使用量	kg	119	118	116	115
		ガソリン使用量	L	1,593	1,578	1,562	1,546
		軽油使用量	L	680,025	673,225	666,425	659,624
		上記に対するCO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	1,770,714	1,753,007	1,735,300	1,717,593
		2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		1,504	1 %削減 1,489
3	水使用量の削減		m ³	井戸水使用の為把握困難	井戸水使用の為把握困難	井戸水使用の為把握困難	井戸水使用の為把握困難
4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	56,000	2 %削減 54,880	4 %削減 53,760	6 %削減 52,640

(4)金沢営業所

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	15,080	1 %削減 14,929	2 %削減 14,778	3 %削減 14,628
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		LPG使用量	kg	549	543	538	532
		ガソリン使用量	L	1,030	1,020	1,010	1,000
		軽油使用量	L	639,103	632,712	626,321	619,930
		上記に対するCO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	1,660,161	1,643,560	1,626,958	1,610,356
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力	定額料金の為、把握困難 削減努力
3	水使用量の削減		m ³	398	1 %削減 394	2 %削減 390	3 %削減 386
4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	36,080	2 %削減 35,358	4 %削減 34,637	6 %削減 33,915

※千葉営業所の二酸化炭素排出係数は令和5年7月18日公表の東京電力エナジーパートナー実績の調整後排出係数0.457kg-CO2/kWhを適用し

※金沢営業所の二酸化炭素排出係数は令和5年7月18日公表の北陸電力実績の調整後排出係数0.480kg-CO2/kWhを適用した。

4.環境経営目標



(5)土浦営業所

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力	共用の為 節電努力
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		ガソリン使用量	L	388	384	380	376
		軽油使用量	L	159,526	157,931	156,336	154,740
		上記に対する CO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	371,265	367,552	363,840	360,127
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		共用の為 削減努力	共用の為 削減努力	共用の為 削減努力	共用の為 削減努力
3	水使用量の削減		m ³	共用の為 節水努力	共用の為 節水努力	共用の為 節水努力	共用の為 節水努力
4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	18,186	2 %削減	4 %削減	6 %削減
					17,822	17,459	17,094

(6)東海営業所

No	環境方針項目		単位	基準値	当年度目標	中長期目標	
				2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	Kwh	23,124	1 %削減 22,893	2 %削減 22,662	3 %削減 22,430
		化石燃料		年間消費量	1 %削減	2 %削減	3 %削減
		ガソリン使用量	L	1,304	1,291	1,278	1,265
		軽油使用量	L	601,894	595,875	589,856	583,837
		上記に対するCO ₂ 排出量合計	kg-CO ₂	1,566,294	1,550,631	1,534,968	1,519,305
		2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		330	1 %削減 327
3	水使用量の削減						m ³
			4	コピー用紙使用枚数の削減		枚	

※東海営業所の二酸化炭素排出係数は令和5年7月18日公表の中部電力ミライズ実績の調整後排出係数0.449kg-CO₂/kWhを適用した。

環境経営目標項目		環境経営取組項目	実施取組内容	適用拠点					
				本社	本社営	千葉営	金沢営	土浦営	東海営
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	・ 不要時の利用停止運動	・ 未使用場所の照明OFF ・ 不使用時のエアコンの電源OFF ・ 帰社時・外出時のPC電源OFF	○	○	○	○	○	○
		・ 機器類の省エネ利用	・ エアコン設定温度(冷房時25℃/暖房時25℃) ・ エアコンフィルターの定期的な清掃・交換	○	○	○	○	○	○
	軽油・ガソリン使用量の削減	・ エコドライブの実施	・ 急加速・急停車の防止 ・ アイドリングストップの励行	○	○	○	○	○	○
		・ 定期的な車両点検整備	・ 点検時期の管理と実施 ・ 運転手への運行前点検の実施指示	○	○	○	○	○	○
廃棄物(一般・産廃)排出量の削減		・ 分別管理と排出量抑制	・ 分別の掲示 ・ 使い捨て製品の使用抑制(紙コップ等) ・ マイバッグ推奨	○	○	○	○	○	○
		・ 使用済紙類の再利用	・ 裏紙使用 ・ 使用済封筒の再利用	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減		・ 節水表示の推進	・ トイレ使用時の大小使い分け ・ 蛇口のコまめな開閉	○	○	○	○	○	○
		・ 水用機器類の調整	・ バルブの調整 ・ 蛇口のシャワー型化	○	○	○	○	○	○
コピー用紙使用料の削減		・ 必要最小限の印刷実施	・ 印刷前の内容確認の徹底 ・ 両面印刷・集約など印刷オプションの活用 ・ ペーパーレス推奨(電子化など) ・ 社内用書類の見直し(要不要・添付書類) ・ 会議時における事前の必要枚数確認	○	○	○	○	○	○
環境・安全配慮製品・技術・サービスの提供		・ 騒音の低減	・ タイヤ空気圧の管理 ・ 不要時のエンジン停止の励行	○	○	○	○	○	○
		・ 交通事故防止の実施	・ 事故防止講習会の実施 ・ 事故事例周知による安全教育	○	○	○	○	○	○
地域環境向上への貢献		・ 地域貢献活動の実施	・ 地域の清掃活動の実施 ・ 地域における事故防止活動の実施 ・ 地域のロータリー活動への協力・支援	○	○	○	○	○	○

6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画



(1)本社

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	67,701	67,024	目標 1%減	66,942	○	・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
LPG使用量の削減	kg	52	51	目標 1%減	43	○		目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
ガソリン使用量の削減	L	15,759	15,602	目標 1%減	19,236	×	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	営業車両が増えたことに伴って、目標未達となったが、取り組みは適切に継続できている。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	67,656	66,980	目標 1%減	75,351	×		
一般廃棄物排出量の削減		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 排出量削減努力		・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用		引き続き分別と排出量削減の徹底に努める。
水使用量の削減	m ³	209	207	目標 1%減	201	○	・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
コピー用紙使用枚数の削減	枚	205,771	201,656	目標 2%減	211,362	×	・必要最小限の印刷実施	紙媒体で周知を行うため、法改正等のある年度は使用枚数が増加してしまう。周知方法の見直しを行い、削減に努める。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。 ○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

(2)本社営業所

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	共用の為、節電努力	共用の為、節電努力		共用の為、節電努力		・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	引き続き節電の徹底に努める。
LPG使用量の削減	kg	共用の為、節約努力	共用の為、節約努力		共用の為、節約努力			引き続き節約の徹底に努める。
ガソリン使用量の削減 (サービスの向上)	L	2,621	2,594	目標 1%減	1,870	○	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
軽油使用量の削減 (サービスの向上)	L	1,457,517	1,442,941	目標 1%減	1,402,058	○		目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	3,766,473	3,728,808	目標 1%減	3,621,648	○		
一般廃棄物排出量の削減		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 排出量削減努力		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力		・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用	引き続き分別と排出量削減の徹底に努める。
水使用量の削減	m ³	共用の為、節水努力	共用の為、節水努力		共用の為、節水努力		・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	引き続き節水の徹底に努める。
コピー用紙使用枚数の削減	枚	183,218	179,554	目標 2%減	144,212	○	・必要最小限の印刷実施	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。 ○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

※CO2排出量の目標値合計＝8,613,733.07(Kg-CO2)に対し、実績値合計＝9,176,680.44(Kg-CO2)となった

6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画



(3)千葉営業所

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	26,688	26,421	目標 1%減	25,844	○	・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
LPG使用量の削減	kg	119	118	目標 1%減	144	×		無駄な待機車両を無くすため営業所の一部 やシャワー室の使用頻度を増やしたことが 増加の原因。注意喚起用の貼り紙を活用し 節約に努める。
ガソリン使用量の削減	L	1,593	1,578	目標 1%減	2,069	×	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	トラックによる回送を減らし乗用車利用に よる移動に切り替えたことが増加の原因。 エコドライブを徹底させ、削減に努める。
軽油使用量の削減	L	680,025	673,225	目標 1%減	680,420	×		運行便が増えたことによる燃料使用が増加 の原因。アイドリングストップなど無駄な 燃料消費をなくし、削減に努める。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	1,770,714	1,753,007	目標 1%減	1,772,526	×		
一般廃棄物 排出量の削減		1,504	1,489	目標 1%減	1,693	×	・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用	無駄な待機を無くすため営業所での休憩や 休憩を実施している事が増加の原因。 排出量抑制の意識を高め削減に努める。
水使用量の削減	m ³	井戸水使用の為、 把握困難	井戸水使用の為、 把握困難		井戸水使用の為、 把握困難		・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	引き続き節水の徹底に努める。
コピー用紙使用枚 数の削減	枚	56,000	54,880	目標 2%減	59,452	×	・必要最小限の印刷実施	仕事量の増加に伴って運行指示書の印 刷枚数が増加した。今後はITを活用し て削減に努める。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。

○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

(4)金沢営業所

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	15,080	14,929	目標 1%減	12,834	○	・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
LPG使用量の削減	kg	549	543	目標 1%減	727	×		常駐する社員が増えことが増加の原因となっている。節約意識を高めるため、朝礼等を活用し周知をおこなっていく。
ガソリン使用量の削減	L	1,030	1,020	目標 1%減	732	○	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
軽油使用量の削減	L	639,103	632,712	目標 1%減	653,569	×		業務変更で長距離運行をする人が増えたことが原因となっている。エコドライブを徹底させ削減に努める。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	1,660,161	1,643,560	目標 1%減	1,696,246	×		
一般廃棄物排出量の削減		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力	定額料金の為、把握困難 排出量削減努力		定額料金の為、把握困難 排出量削減努力		・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用	引き続き分別と排出量削減の徹底に努める。
水使用量の削減	m ³	398	394	目標 1%減	457	×	・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	常駐する社員が増えことが増加の原因となっている。節水意識を高めるため、掲示物を活用し、今一度削減に努める。
コピー用紙使用枚数の削減	枚	36,080	35,358	目標 2%減	39,642	×	・必要最小限の印刷実施	新規顧客が増え、業務マニュアルや注意書を社員に紙で配布したことが増加の原因。伝達方法を見直し削減に努める。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。

○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

※CO2排出量の目標値合計＝8,613,733.07(Kg-CO2)に対し、実績値合計＝9,176,680.44(Kg-CO2)となった

6.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画



(5)土浦営業所

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	共用の為、節電努力	共用の為、節電努力		共用の為、節電努力		・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	引き続き節電の徹底に努める。
LPG使用量の削減	kg	共用の為、節約努力	共用の為、節約努力		共用の為、節約努力			引き続き節約の徹底に努める。
ガソリン使用量の削減	L	388	384	目標 1%減	1,070	×	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	2022年11月より営業所に乗用車が増えたため、数値上、大幅増となっているが取り組みは適切に実施できている。
軽油使用量の削減	L	159,526	157,931	目標 1%減	166,136	×		従業員数が増え、給油量が増加した。エコドライブを徹底させ、削減に努める。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	412,478	408,353	目標 1%減	431,112	×		
一般廃棄物排出量の削減		共用の為、削減努力	共用の為、削減努力		共用の為、削減努力		・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用	引き続き分別と排出量削減の徹底に努める。
水使用量の削減	m ³	共用の為、節水努力	共用の為、節水努力		共用の為、節水努力		・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	引き続き節水の徹底に努める。
コピー用紙使用枚数の削減	枚	18,186	17,822	目標 2%減	18,226	×	・必要最小限の印刷実施	掲示物の見直しを行った結果、使用枚数が増加してしまった。要不要を再度見直し削減に努める。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

(6)東海営業所

削減項目	単位	基準値	当年度目標		実績		取組内容	評価並びに次年度の取り組み
		2022年度	2023年度		2023年度			
電力使用量の削減	kWh	23,124	22,893	目標 1%減	17,944	○	・不要時の利用停止 ・機器類の省エネ利用	目標達成。 今後も継続して取り組んでいく。
LPG使用量の削減	kg	不使用の為、節約努力	不使用の為、節約努力		不使用の為、節約努力			引き続き節約の徹底に努める。
ガソリン使用量の削減	L	1,304	1,291	目標 1%減	967	○	・エコドライブの実施 ・定期的な車両点検実施	目標達成。 近おgも継続して取り組んでいく。
軽油使用量の削減	L	601,894	595,875	目標 1%減	608,331	×		4t車で行う運行が増えたことが増加の原因。 朝礼等でエコドライブの実施を今一度周知し、再度意識づけさせる。
上記に対するCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	1,566,294	1,013,025	目標 1%減	1,579,796	○		
一般廃棄物排出量の削減		330	327	目標 1%減	407	×	・分別管理と排出量抑制 ・使用済紙類の再利用	衛生面改善の為、瓶や缶の収集頻度を増やしたことが原因となっている。排出量抑制を意識させ、削減に努める。
水使用量の削減	m ³	123	123	目標 1%減	164	×	・節水表示の推進 ・水用機器類の調整	車両美化を活発化させたことが水使用量増加の原因となっている。節水を今一度意識させ、削減に努める。
コピー用紙使用枚数の削減	枚	34,900	34,202	目標 2%減	41,492	×	・必要最小限の印刷実施	営業所長変更に伴って、掲示物を刷新したことが使用枚数増加の原因。必要最小限の印刷を意識させ、削減に努める。

※次年度の目標は「4.環境経営目標」に記載。○…目標達成、△…目標未達も基準値より削減、×…基準値より増加

※CO2排出量の目標値合計＝8,613,733.07(Kg-CO2)に対し、実績値合計＝9,176,680.44(Kg-CO2)となった

適用法	適用事項	適用拠点						遵守評価		
		本社	本社営	千葉営	金沢営	土浦営	東海営	評価日	評価者	結果
①廃棄物処理法	・許可業者との契約、保管、産業廃棄物の適正保管	○	○	○	○	○	○	2月2日	鳴海	○
②道路運送車両法	・車両の大きさ・重量、乗車の保安基準	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
③道路交通法	・車両の大きさ・重量、通行制限	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
④消防法（危険物）	・危険物の保管 ・完成検査 ・届出許可	○	○	○	-	-	-	7月31日	鳴海	○
⑤自動車NOx・PM法	・車検、日常点検の実施、排出抑制計画書、実施報告書の作成・提出	○	○	○	-	-	-	7月31日	鳴海	○
⑥自動車リサイクル法	・所有者の責務	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
⑦浄化槽法	・設置・変更・廃止の届出 ・保守点検・清掃・法定検査(11条検査の実施)	○	○	○	-	-	-	7月31日	鳴海	○
⑧アイドリングストップ関連条例	・点呼時の啓発	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
⑨省エネ法	・使用状況届出書等の提出と中期事業計画書の報告 ・エネルギー管理統括者の配置 ・エネルギー管理企画推進者の配置	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
⑩千葉県環境保全条例	・自動車の使用に伴う環境への負荷の低減を図るための指針に基づく「自動車環境管理計画書」を提出 ・「自動車環境管理実績報告書」を提出	○	○	○	-	-	-	7月31日	鳴海	○
⑪家電リサイクル法	・特定家庭用機器として指定されている4品目を正しい方法でリサイクルする	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
⑫フロン排出抑制法	・第一種特定製品の管理を行い管理者による点検・記録の実施 ・フロン使用機器を廃棄する場合には、フロン回収指定業者に処理を委託し、回収確認書を受領する。回収確認書及び廃棄までの点検記録は廃棄後3年間保管する。	○	○	○	○	○	○	7月31日	鳴海	○
⑬水質汚濁防止法	・特定施設の設置・変更の届出 ・保守・点検・清掃・定期検査	○	○	○	○	-	○	7月31日	鳴海	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、環境問題に関わる苦情や事故をはじめ、違反、訴訟等もありませんでした。

【事故防止活動】



事故防止講習会の実施

安全で安心な輸送サービスを提供し続けるために、各営業所の管理職及び運転職を対象として毎年、事故防止講習会を開催しています。

事故防止講習会では、関東交通共済様の専任講師に来ていただいています。事故の実例を元に講義をしていただき、また、弊社安全推進からはドライブレコーダー検証に基づいた指導・教育を行い、事故防止へとつなげています。

令和4年度は合計6回の事故防止講習会を実施し、530名の従業員が参加しました。

激励パトロール



←
積み込み拠点センター・荷下ろし拠点センターにて飲食物の差し入れ及び激励を行っています。
ドライバーさんと一緒に荷積み作業などを行い元気に出発をしてもらい事故防止につなげています。

洗車Day実施状況報告書

営業所 水更津営業所
報告者 山口 武彦

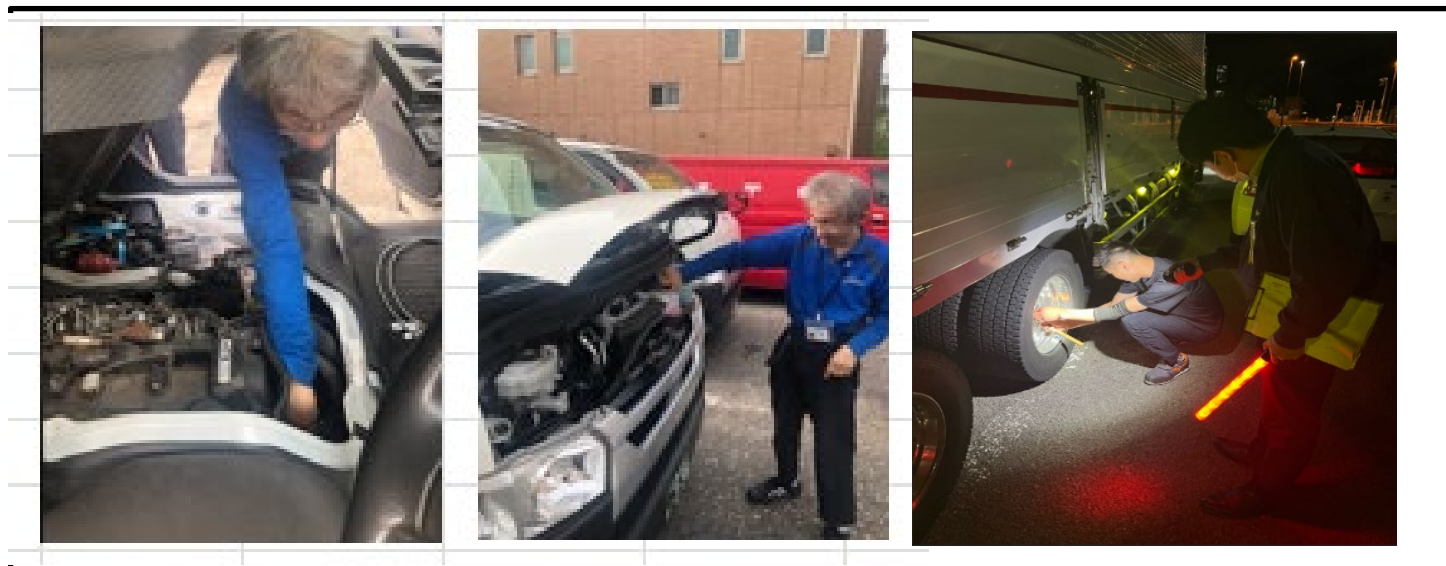
令和5年12月8日(金)

⇒
綺麗な車両に事故はなしをモットーに毎月第1第3金曜日を車両美化洗車Dayとして、運転職は車両への日頃の感謝を。管理職は運転職の皆さんと会社の資産である車両に感謝をして洗車に取り組み、事故防止につなげています。



部長		課長		安全推進員	

【油漏れに対する非常事態訓練】



自動車整備点検
強化講習
実施

油漏れが起きてからでは遅い。運行前に油漏れに関する点検強化を目的に自動車整備点検強化講習を行いました。特に4カ所を重点的に確認するよう指導・教育をしています。

- ①部品と部品のつなぎ目の部分
- ②シール関係
- ③ホース関係
- ④パイプまわりのガスケット



⇐

高圧ガス車両に関しては油漏れ教育は勿論、石鹼水を用いたガス漏れ点検を強化しています。危険に気付くことが出来るよう日々訓練を行っています。

⇒
自社給油場設備の保守に関しても教育を行い、浄化槽の保守・保全に関して従業員全体が理解を深めました。全体の問題意識を向上させ危険にいち早く気付ける環境を作っています。



【油漏れに対する非常事態訓練】



油漏れ発生時の訓練を行っています。

①油漏れ発生時、下水に流れないようにオイル吸着パッド使用訓練

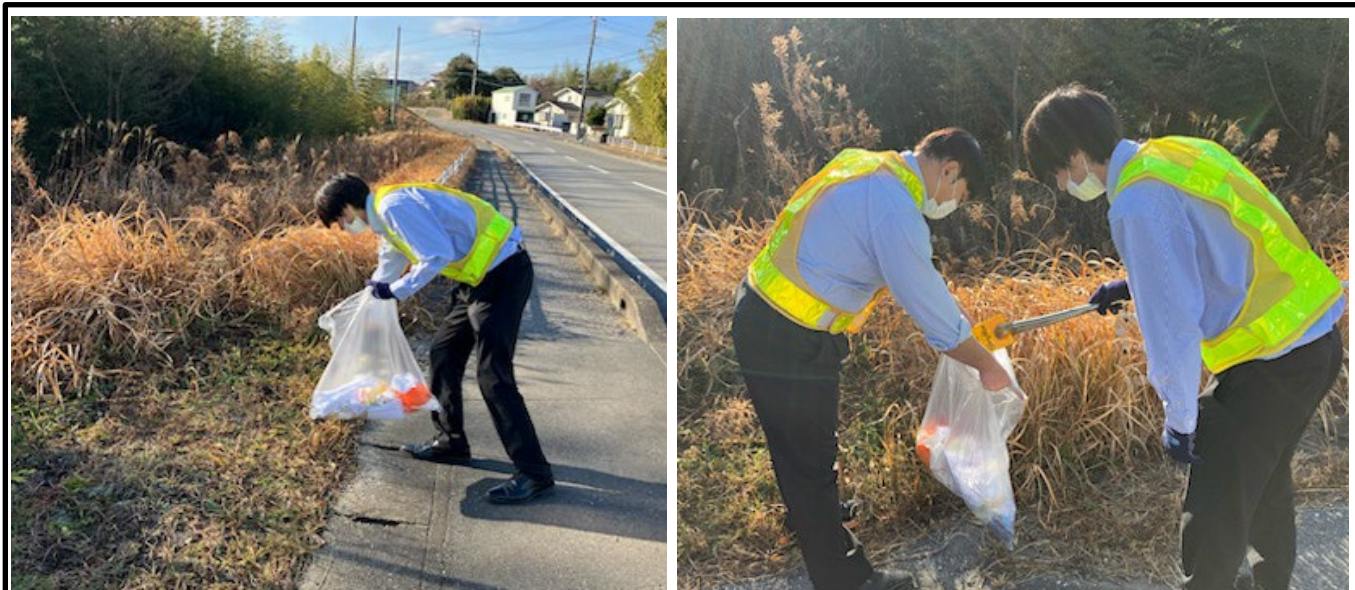
②中和剤スプレー使用訓練

万が一の事態が発生したときに適切な行動をとれるように訓練を継続していきます。

③ヘルメットを着用する

【社会貢献活動】

地域美化活動の実施



日頃より公共道路を使わせていただき、安全で安心な輸送サービスにご協力いただいている地域住民のみなさまに感謝の気持ちを込めて、地域の清掃活動を行っています。

交差点における交通誘導の実施



地元地域の住民の皆さんが事故に遭わないよう、多くの交通弱者が行き交う国道交差点にて交通誘導を実施しています。悲惨な事故を防止する為、今後も継続していきます。

9.代表者の全体評価並びに見直し・指示



【全体評価】

段階的認証により今年度より取組を開始した拠点が数拠点あるが、どの営業所も削減に対する意識は非常に高いと感じている。しかしながら、取組を開始したばかりということもあり、数値が悪い拠点もあった。

引き続き、削減に対する意識を高く持ち、数値に表せるよう努力を継続してほしい。

今後、対象拠点を順次拡大していくにあたっては、取り組みを適切に継続するために、社員一人一人の意識を高め、環境活動に励んでいく。

【見直し・指示事項】

<環境経営方針>

■変更なし □変更あり

年度方針のため、今期は変更せず期末に再度情勢に合わせ見直しを行っていくこととした。

<環境経営計画・目標>

①二酸化炭素排出量 □変更なし ■変更あり

基準値においてEA21の取組を開始した2022年度へ変更する。尚、次年度以降も数年間は2022年度を基準値として定め、運用の結果次第で見直しの要否を判断することとした。

②廃棄物排出量 □変更なし ■変更あり

基準値においてEA21の取組を開始した2022年度へ変更する。尚、次年度以降も数年間は2022年度を基準値として定め、運用の結果次第で見直しの要否を判断することとした。

③水道使用量 □変更なし ■変更あり

基準値においてEA21の取組を開始した2022年度へ変更する。尚、次年度以降も数年間は2022年度を基準値として定め、運用の結果次第で見直しの要否を判断することとした。

④コピー用紙使用量 □変更なし ■変更あり

基準値においてEA21の取組を開始した2022年度へ変更する。尚、次年度以降も数年間は2022年度を基準値として定め、運用の結果次第で見直しの要否を判断することとした。

⑤事故防止・社会貢献 ■変更なし □変更あり

今後も事故防止活動の徹底と地域の美化活動をはじめとする社会貢献を継続することとした。

<環境関連法規等>

■変更なし □変更あり

今回の実施範囲では法令の遵守が確認できたが、今後拡大予定の他拠点についても事前に遵守状況について確認しておくこととした。

<実施体制>

■変更なし □変更あり

来期以降も変わらず現体制で実施し、全社を対象範囲として実施する2024年度の結果次第で、実施体制の見直しの要否を判断することとした。